

保育園留学®で初めて「発達支援」を提供。「北海道小樽市」で募集開始。

小樽市は、株式会社キッチハイクが特許を取得している、地域と子育てご家族をつなぎ、未来を作る親子ワークショッププログラム「保育園留学®」を全国初の取組として、北海道済生会が運営する「発達支援事業所 きっずてらす」でスタートしました。

発達が気になるお子様を対象に、生きる力や自信を養いながら、家族で1~2週間滞在できるプログラム。宿泊施設「ザ・グリーン小樽ヴィラA」も利用できる新しい暮らしの体験です。

※令和5年9月~令和6年3月までの枠を7月28日から募集開始、7家族の滞在を予定。

※全国で27例目、道内では5例目の保育園留学で、発達が気になるお子様を対象とするものは全国初。

▼ 北海道小樽市 保育園留学®ウェブサイト

<https://hoikuen-ryugaku.com/otaru>



・小樽市の保育園留学®

保育園留学®とは：地域と子育て家族をつなぎ、未来をつくる留学プログラム

「地域の価値を拡充し、地球の未来へつなぐ」をミッションに掲げる株式会社キッチハイクでは、地域と子育て家族をつなぎ1~3週間家族で地域に滞在できる暮らし体験「保育園留学®

(※1)」を展開しています。子どもには心身ともにのびのび育つ環境を、家族には働きながら子育てをしながらも多様な選択肢を、地域には、家族ぐるみの長期的関係人口の創出や地域経済への貢献をもたらします。令和3年より北海道厚沢部町から開始。都市部の子育て家族を中心に注目を集め、全国2500組待ち(令和5年3月現在)となっています。

(※1)「保育園留学®」は、株式会社キッチハイクの商標です。特許取得済(特許第7164260号「滞在支援システム、滞在支援方法、およびプログラム」)

・北海道小樽市「発達支援事業所 きっずてらす」保育園留学®のポイント

ポイント1：生きる力や自信を養う、個別支援と集団活動



毎日の活動プログラムは、「挨拶」「体操」「運動」「制作」などいくつかのテーマに沿って集団で行っています。プログラムの内容は、子どもたち一人ひとりの個性に合わせて、作業療法士が設計。「集団活動」と「個人支援」両方を重視した支援を受けられます。事業所のスタッフはポジティブな声かけを意識し、新しいことができたり、いいことをしたときには積極的に褒め、子どもたちの自信に。「できた」という自信を積み重ねる経験が、生きる力にもつながります。

ポイント2：市街地にほど近い、一棟貸しのヴィラ



小樽の市街地から徒歩数分の場所に一棟貸しのヴィラを用意しています。2階建ての1階スペースを利用可能で、リビング、ダイニングキッチン、寝室、洗面台、お風呂、トイレを完備。休日は広いリビングでくつろいだり、街にお出かけるのにぴったりの住宅です。仕事をするにもちょうどいいダイニングテーブルがあり、休憩時間のお供に嬉しい、コーヒーマーカーやカップなどのカフェセットも準備。Wi-Fi環境も充実していて、仕事をするにも十分な空間です。

ポイント3：博物館や水族館など、親子で楽しめる文化施設が充実



「小樽市総合博物館」本館では1日に3回、歴史的な蒸気機関車「アイアンホース号」が敷地内の線路を走ります。夏の新緑や秋の紅葉の中を走る姿は一見の価値あり。施設内にはプラネタリウムや科学展示室もあり、鉄道だけではない学び体験もできます。

近隣には「おたる水族館」もあり、あわせて訪れるのもおすすめ。「海獣公園」というエリアでは、海を仕切っただけの豪快なプールでアザラシやトドが暮らすなど、限りなく自然に近い環境で生き物の見学を楽しめます。

小樽市の保育園留学®概要

◎募集期間：

【申込期間】令和5年7月28日より開始

【留学期間】令和5年9月10日～令和6年3月16日までの期間

◎対象年齢：1歳～5歳児

◎料金：お申込人数・留学期間により異なります。詳細はHP/予約サイトをご確認ください。

▼ 北海道小樽市 保育園留学®ウェブサイト

<https://hoikuen-ryugaku.com/otaru>